



平成30年度
事業報告書



法人方針に対する各事業の活動報告

平成30年度法人方針

「和」

はじめに

ここ数年間において、社会福祉法人の運営に大きな影響を与える制度改革として下記の3点があります。

1. 平成29年4月1日施行の「社会福祉法等の一部を改正する法律」
いわゆる「社会福祉法人制度改革」
2. 平成30年4月1日より実施の報酬改定
3. 平成31年4月1日施行の「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」

働き方改革については、法律等に則り、就業規則を変更し、あらたな36協定を結ぶなどして、この4月から対応しつつあります。働き方改革は、我々のような社会福祉法人においても、職員が100名を超える法人であれば、大企業と同じく平成31年4月から対象となり、人材不足の社会福祉法人にとっては大きな痛みを伴う課題と云えます。

この改革に対応するための勤務ローテーションをいかに組み立てるかが、成否の分かれ目となります。処遇改善加算がある反面、罰則もあります。職員の皆さん方のモチベーションを維持、向上させると共に臨機応変の事態にも対応できるよう勤務スケジュールを作成するにあたっては細心の注意を払うことが求められます。各事業の責任者は業務改善にあたってはコンプライアンスを強く意識してのマネジメントが必須となりました。

以上のような変革期において、平成30年度は以和貴会にとっても大幅な改革が求められた一年でした。管理職の配転、人材確保を重視した求人活動やホームページの刷新、就労事業においては新たな枠組みでの事業活動の展開を行ってまいりました。

又、すみれの里では第三者評価を受審し、より良い支援へつながらる運営の見直しが図れるきっかけになるなど良い面もありました。

一方、報酬改定等による収入の減少、福祉業界に共通する恒常的な人材不足、収支の出ない財務等、大きな課題がより鮮明になった一年でもありました。更に言えばこの5月1

6日に障害者雇用促進法改正案が衆院本会議において全会一致で可決され、今国会で成立する見通しとなりました。このことをも考慮しての明確な将来構想をもって、綿密な事業計画をたてて、より一層の改革を進めていく必要があります。

令和元年度の法人方針として掲げられた「やる気、本気、以和気！」を具現化した歩みとなることが求められる事となりました。

以上のような環境の中でなされた平成30年度の事業運営をふり振り返りますと、当初の年度予算としては、黒字を想定した予算建てを致しましたが、決算としては「資金収支計算書」において、当期資金収支差額合計で、28,083,226円の赤字を計上することとなりました。このため平成31年(令和元年)度は、財政の健全化が最重要課題となっています。

利用率の向上による収入増と、人件費の見直しが急務であり、これらの改善により31年度は黒字化を実現することが必達目標となりました。

職員確保も大きな課題ではありますが、このことに関しては前述の人材確保を重点に置いた活動が幸いし、今春は5名の新卒者を迎え入れることが出来ました。31年度の法人運営に貢献して頂けるものと期待しています。

厳しい経営状況の中ではありますが社会福祉法人としての存在意義についても配慮した経営努力が求められている事には変わりはありません。冒頭の「社会福祉制度改革」の主眼の一つに「地域における公益的な取組」の責務化があります。

法人本来の社会貢献としては「人として尊厳のある暮らしと、その人らしく、その人なりの人生を支え続ける」を理念としての障害者支援がありますが、「地域における公益的な取組」の内容についても「現況報告書」を作成して行政に提出することが求められています。

参考

「地域における公益的な取組」とは・・・

要件 社会福祉事業又は公益事業を行うに当たって提供される福祉サービスであること

要件 日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対する福祉サービスであること

要件 無料又は低額な料金で提供されること

法人方針に対する各事業の設定目標と活動報告

年度方針としての設定目標や目標を受けての活動報告については、適宜、評議員会や理事会の席をはじめ、「ぽこあぽこ」等にて報告を致しておりますが、法人の運営を理解して頂きご支援してくださっている関係機関の皆さまやご家族の方々、そして何よりも日頃の働きに於いて、現場に立ち労苦されている職員方に感謝を致しております。

数字から見た運営

平成30年度アクションプランは、別途添付。

平成30年度利用状況について

ゆらくの里拠点、入所施設・グループホームといった安定したご利用を見込める拠点として、以和貴会における中心的な事業としての役割を果たしてきました。しかしながら、近年においてご利用者の高齢化や障がいの重度化が進み、入院される方やお亡くなりになられる方が増え、定員60名に対して約10名の空床があるといった状況が生じ、一方で、日割り計算となった現在の報酬とも相まって運営上大きな影響を受ける状況となってまいりました。将来の展望を考へて早期に経営改善を図る必要があります。

通所事業では、成人の方を対象として、日中支援活動である「働くことをテーマにした就労活動支援」と「生きがいや健康管理をテーマにした日中活動支援」を行ってまいりました。業績的には就労移行支援事業において、平成29年度の就職実績ゼロの影響により支援費収入が半減したこと、展開している就労継続B型事業の経営体質の改善が思うように進まなかったこと等により、「事業活動資金収支差額」及び「当期資金収支差額合計」において赤字となりました。

平成31年度(令和元年度)は、就労事業の活動内容の見直し、ご利用者にお支払いする工賃の見直しの実施は避けられません。

地域拠点においては、収入に大きな変化はありませんでした。一方、支出においては人件費が増加した影響で「事業活動収支差額」において、若干ではありますが赤字となりました。又、積立や資産の購入を約1800万円行った為、結果的には、当期収支で賅うことが出来ず、前期からの累計で39,371,358円と負債額が増加することとなりました。

又、法人運営における財務管理を助けて頂いている会計事務所からは、他の社会福祉法人と比較しての経営指標において劣位にあるとの指摘も受ける状態に置かれました。

法人設立30年の節目の年である、平成30年度の活動結果について以上のような不本意な報告を致しますことは誠に残念なことであり、結果を真摯に受け止めて立て直しに邁進して参ります。前述において、利用率の向上について触れましたが、他施設の見学を通して「総合的な支援力」が見劣りしていることは否めません。「総合的な支援力」を言い換えれば、質の良い支援を低コストで提供できる経営体質と言えます。

次の事に留意した体質改善に取り組みます。

常に進歩する力

昨年も今年も同じことを同じ方法でやっていたのでは取り残される

提供している支援、サービスにおいてムリ、ムダ、ムラをチェックし改善する力

上記の 項を行う上での能力を高めるために

- ルールを明確にし、無駄な判断(打合せ、会議等)、不明確な指示、連絡を無くし、不要な問い合わせや照合を無くす。
- 帳票類等の書式の見直しと作成の目的を明確にする。
- 定められた基準を満たし、定められた期限は守り、確認や督促を無くすための業務スケジュールを設定する。

例えば、運転免許証の有効期限が切れないようにするにはどうすればよいか、不確定要素を想定し、不測の事態に備え、代案を用意しておくなど

利用率

ゆらくの里(入所支援事業) 定員60名

	H30.3.31	増加	減少	H31.3.31		
				人数	平均年齢	平均年数
男	36	0	3	33	50.5	19.6
女	20	1	2	19	57.0	22.3
計	56	1	5	52	52.9	20.5

5名の減少の内訳は、1名が死去、2名が医療施設へ、2名が他法人入所施設へ異動。

風鈴山荘(グループホーム)定員14名

	H30.3.31	増加	減少	H31.3.31		
				人数	平均年齢	平均年数
男	14	0	0	14	49.4	22.5
女	0	0	0	0	-	-
計	14	0	0	14	49.4	22.5

グループホームに移行された方の平均年数は、ゆらくの里での入所期間と通算した年数。

今人

事業名	定員	H28年度 利用率	H29年度 利用率	H30年度	
				延べ人数	利用率
就労移行支援	10	54.7%	69.3%	1148	46.3%
就労継続B型	10	37.0%	54.3%	1968	79.4%
生活介護事業	20	75.7%	80.7%	3799	76.3%

就労移行事業は、平成31年(令和元年)度から6名に変更する。

我楽

事業名	定員	H28年度 利用率	H29年度 利用率	H30年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	105.6%	115.6%	4726	98.6%
就労継続A型	10	83.7%	66.7%	-	-
就労継続B型	10	88.8%	100.6%	2683	108.6%

平成30年6月より、生活介護事業の定員を15名から20名に変更した。
就労継続A型事業は、平成30年3月をもって事業所を廃止し、ご利用者は4月1日付
ですみれの里就労継続B型事業へ移行した。

すみれの里

事業名	定員	H28年度 利用率	H29年度 利用率	H30年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	79.5%	84.0%	4031	80.6%
就労継続B型	10	60.2%	54.6%	1993	80.0%

香芝市の指定事業は、平成30年9月に更新を行ない、令和5年8月までの契約となっ
た。

放課後等デイサービス

事業名	定員	H28年度 利用率	H29年度 利用率	H30年度	
				延べ人数	利用率
ゆらくの里デイ	10	53.6%	74.0%	1961	79.7%
はぐらいぶ	20	79.8%	80.7%	4185	84.7%

利用契約者数

今人

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成30年3月31日	平成31年3月31日	
就労移行支援	10	6	4	0.40
就労継続B型	10	5	10	1.00
生活介護事業	20	18	17	0.85

我楽（GALA）

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成30年3月31日	平成31年3月31日	
生活介護事業	20	19	23	1.15
就労継続A型	10	7	-	-
就労継続B型	10	14	13	1.30

生活介護の定員を平成30年6月より20名に変更した。
就労継続A型事業は、平成30年3月付で廃止し、4月からは、すみれの里の就労継続B型事
業へ移行した。

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成 30 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日	
生活介護事業	20	21	19	0.95
就労継続 B 型	10	6	8	0.80

放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成 30 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日	
ゆらくの里デイ	10	22	26	2.60
はぐらいぶ	20	61	63	3.15

短期入所及び日中一時支援事業

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成 30 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日	
短期入所	10	59	61	6.10
日中一時支援事業	10	60	61	6.10

□平成30年度職員状況について

平成30年度、法人全体としての正職員の雇用状況は、増加8名、減少11名となりました。増加の内訳は、新卒採用が4名、パートからの雇用形態の変更が1名、中途採用者が3名であります。令和元年5月1日現在、8名の方は、継続して勤務していただいております。平成31年4月1日には、5名の新卒者が採用となり勤務するなど、新卒採用が少しずつではありますが軌道に乗り始めておりますが、入所事業では、まだ人材が不足している現状にはわかりがありません。

事業名	H30.3.31			H31.3.31										
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢			
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
ゆらくの里														
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2								
正職員	16	15	31	12	13	25	25.0	8.8	7.5	8.2	38.0	43.9	40.9	
パート職員	5	10	15	6	9	15	10.4							
計	23	25	48	20	22	42	35.4							
今人														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1								
正職員	3	3	6	3	2	5	5.0	8.1	3.0	6.4	33.9	36.5	34.7	
パート職員	1	6	7	1	6	7	4.1							
計	5	9	14	5	8	13	9.1							
我楽														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1								
正職員	7	4	11	5	3	8	8.0	3.8	5.4	4.3	37.5	38.9	37.9	
パート職員	1	15	16	1	12	13	7.8							
計	9	19	28	7	15	22	15.8							
すみれの里														
サービス管理責任者	0	1	1	1	0	1								
正職員	2	2	4	3	3	6	6.0	7.0	7.4	7.2	40.7	62.5	41.5	
パート職員	3	9	12	2	13	15	8.2							
計	5	12	17	6	16	22	14.2							
ゆらくの里デイ														
児童発達支援管理責任者	1	0	1	1	0	1								
正職員	0	2	2	0	3	3	3.0	11.8	2.8	5.1	32.9	24.5	26.6	
パート職員	1	1	2	1	0	1	1.0							
計	2	3	5	2	3	5	4.0							
はぐ・らいぶ														
児童発達支援管理責任者	0	2	2	1	1	2								
正職員	1	2	3	1	4	5	5.0	4.3	2.6	3.1	40.8	26.3	30.4	
パート職員	2	2	4	2	2	4	2.3							
計	3	6	9	4	7	11	7.3							
しえ〜く														
正職員	0	2	2	0	2	2	2.0	-	9.7	9.7	-	55.9	55.9	
パート職員	0	1	1	0	1	1								
計	0	3	3	0	3	3								

事業名	H30.3.31			H31.3.31										
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢			
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
事業企画推進室														
正職員	1	0	1	1	1	2	2.0	4.8	10.8	7.8	28.8	31.6	30.2	
パート職員	-	-	-	-	-	-	-							
計	1	0	1	1	1	2								
のあ														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		3.7	11.9	7.8	44.8	53.7	49.3	
正職員	-	-	-	0	1	1	1.0							
パート職員	0	7	7	0	6	6	2.4							
計	1	7	8	1	7	8	3.4							
そーる														
サービス提供責任者	1	0	1	1	0	1		12.8	-	12.8	40.6	-	40.6	
正職員	-	-	-	-	-	-	-							
パート職員（登録）	1	0	1	1	2	3								
計	2	0	2	2	2	4								
管理・厨房														
正職員	5	2	7	5	3	8		10.4	12.1	11.1	46.8	52.5	49.0	
パート職員	3	8	11	4	8	12								
計	8	10	18	9	11	20								
合計														
サービス管理責任者	7	3	10	9	1	10		7.7	6.7	7.2	38.9	40.2	39.5	
正職員	35	32	67	30	35	65								
パート職員	17	59	76	18	59	77								
計	59	94	153	57	95	152								

看護師はゆらくの里に含み、アルバイト職員は含んでいない。

パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の平成31年3月支給給与により算出しているため、あくまで参考である。（常勤の月勤務時間数を150時間で計算）

合計欄の「サービス管理責任者」には、「児童発達支援管理責任者」及び「サービス提供責任者」を含む。

そーるのパートは、法人外の雇用ヘルパーのみ記載し、職員の兼務者は含まない。

のあのサービス管理責任者はしゅーくの職員が兼務しているため、しゅーくから除いている。

平成30年4月1日付で組織変更を行い、「そら」は我楽から「すみれの里」に変更となっている。3月末のそらの職員数は、正職員2名（男性1、女性1）パート3名（女性3）。

□平成30年度残業について

平成30年度は、職員数の減少や業務量の増加に伴い、時間外勤務が、時間にして12.1%、金額にして13.4%の増加と、人件費を押し上げる要因となりました。平成31年4月1日からの働き方改革に伴い、時間外を減らす取り組みを行っております。始まって約1ヶ月、時間外申請は減少しましたが、実際に業務の改善を行なった結果の減少とは言えないため、管理者の現状把握から改善につなげていくようにします。

参考

各拠点に属する事業は以下のとおりであります。

ゆらくの里・・・ゆらくの里、ゆらくの里デイサービス

今人・・・今人、すみれの里、そら

地域・・・しえ〜く、我楽、はぐらいぶ、のあ、そ〜る

〔時間〕

単位：時間

拠点	H28年度	H29年度	H30年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	6285.25	6448.0	42	7273.50	+12.8%	14.41
今人	1626.50	2119.00	12	2253.75	+6.4%	15.65
地域	2126.75	2646.75	17	3039.00	+14.8%	14.88
計	10038.50	11213.75	71	12566.25	+12.1%	14.73

〔金額〕

単位：千円(1人あたりは円)

拠点	H28年度	H29年度	H30年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	10,286	10,998	42	12,882	+17.1%	24,918
今人	2,909	3,664	12	3,936	+7.4%	25,560
地域	3,476	4,437	17	4,841	+9.1%	23,163
計	16,672	19,100	71	21,660	+13.4%	24,614

ゆらくの里中には、直接支援者以外(管理、厨房など)の職員を含み、管理者は除く

集計は申請分のみ

時間外を休日に振替えているケースがあれば、時間外労働時間数に含まれない。

時間及び金額には、退職者を含むが、人数欄は期末人員数を表記している。

□平成30年度有給休暇取得について

平成30年度は、平成29年度と比較して39.0%増の454日の取得となりました。平成31年4月1日からの働き方改革の有給休暇5日の取得の義務化の事を考えると、良い方向に向いているとも考えられますが、有休休暇の取得理由の1つとして体調不良（入院含む）が、有休休暇取得の37.2%もあり、体調管理が大きな問題となっております。

拠点	H28年度	H29年度	H30年度		
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数
ゆらくの里	117.5	139.0	43	222.0	5.16
今人	87.0	79.5	12	118.0	9.83
地域	86.0	108.0	22	114.0	5.18
計	290.5	326.5	77	454.0	5.90

ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む。
人数は、平成31年3月31日在席の正職員数、取得日数は同期間の退職者も含む取得日数
1人当たりの取得日数は、取得日数を期末人数で除して計算
各事業の管理者を含む。

データ

最多取得者は、23.5日であるが、体調不良による入院が含まれる。
取得数0日の職員が8名含まれており、上記集計に含まれている。

□平成30年度事業活動収入対人件費比率について

平成29年度は、報酬改定が行われ新たな処遇改善加算が設けられたこともあり、人件費が大きく増加しました。(49,571,733円増、対収入比前年度差+2.1%)平成30年度は、そのような大きな変更がなかったことから、増加は金額ベースで、対前年度比3.4%増にとどまりました。しかし収入が減少したことで、人件費率は大きく増加した結果となりました。(17,506,222円増、対収入比前年度差+4.8%)人件費率が70%を超えたことは、大きく問題視しなければなりません、人件費(おもに時間外勤務)を減らすのではなく、収入を増やし、率を下げることを考えていかなければなりません。

〔比率〕

拠点	H28年度	H29年度	H30年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	60.4%	66.0%	66.9%	+0.9%
今人	72.4%	69.0%	81.7%	+12.7%
地域	75.4%	76.5%	81.4%	+4.9%
計	66.2%	68.3%	73.1%	+4.8%

人件費率算出において、事業活動収入から就労収入を控除した金額を分母として算出

〔金額〕

単位：千円

拠点	H28年度	H29年度	H30年度	
			人件費	前年度比較
ゆらくの里	243,856	276,496	279,914	+3,417
今人	89,691	93,217	98,798	+5,581
地域	128,145	141,550	150,057	+8,507
計	461,692	511,264	528,770	+17,506

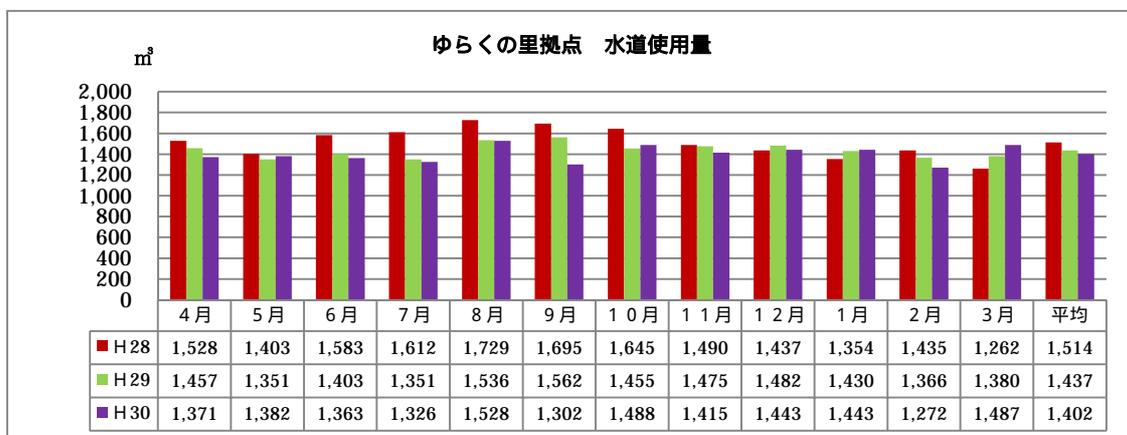
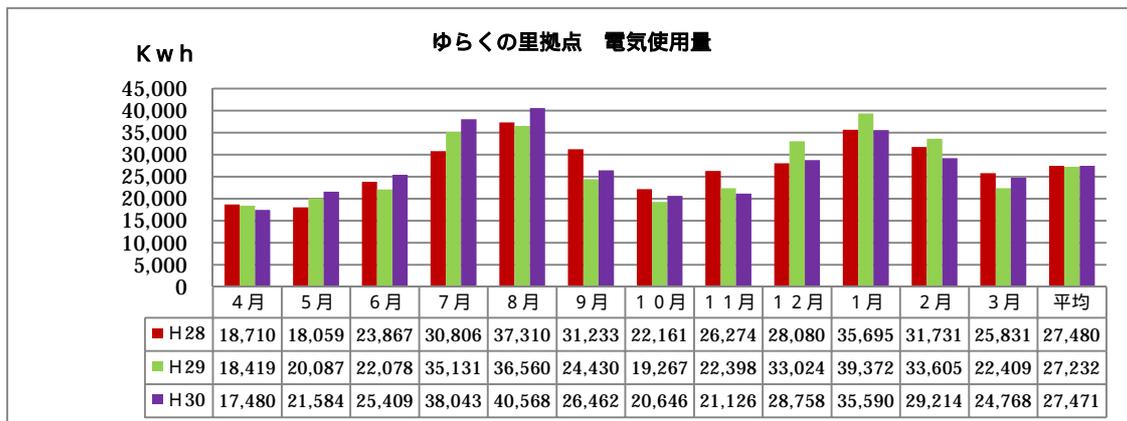
□平成30年度光熱水費について

電気は、高圧電力を使用している事業所（今人及びゆらくの里）は、割引を行っていただけたことから関西電力に戻し、費用の削減につなげることができました。（平成30年11月から）その他電気及び水道に関しては、各事業節約の取り組みをしていただきましたが、必ずしも結果につながらなかった事業もあります。

ゆらくの里拠点

電気は、単価の見直しの結果、主に11月以降料金は減少しました。又使用量も無駄を省く取り組みができております。水道もムダを省くことができ、1年を通じてほぼ毎月、前年度を下回る使用を実行することができました。

	平成29年度	平成30年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	7,178千円	6,936千円	100.9%	96.6%
水道	5,184千円	5,055千円	97.5%	97.5%

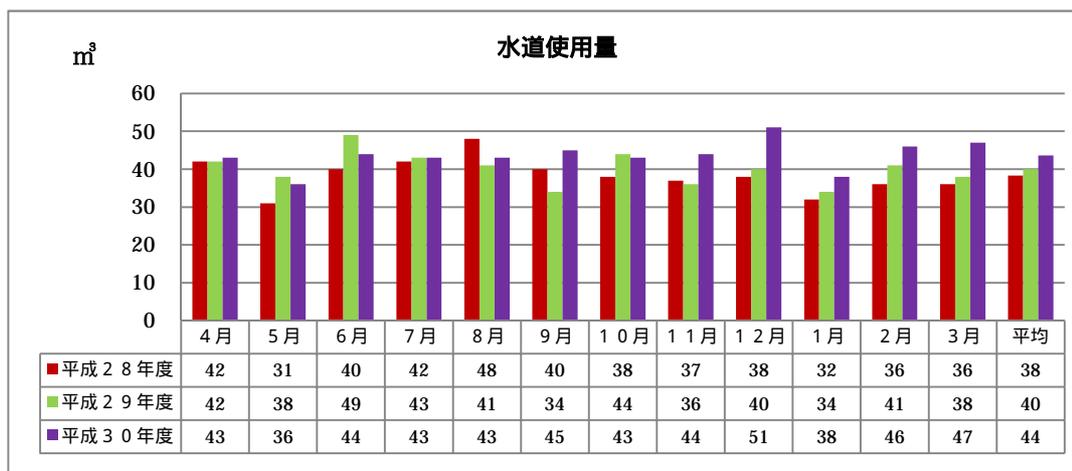
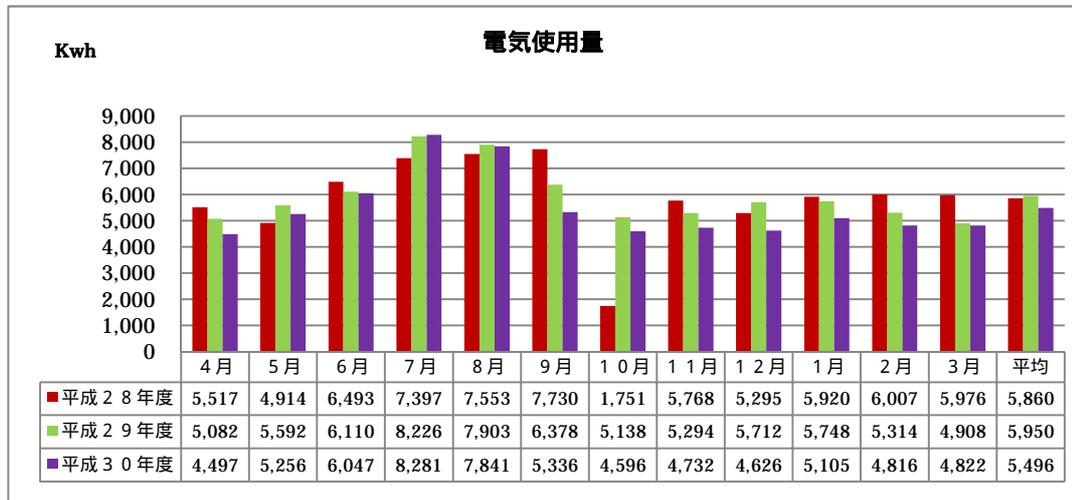


今人拠点（今泉）

電気代は、単価の見直しができ、使用量、金額ともに下がりました。しかしパンの売上が約1割下がったことを考えると、水道の使用量が約1割アップを含め電気使用量も、削減していく取組みが不十分であった可能性があります。

参考：パンの販売売上高前年度比較・・・89.7%

	平成 29 年度	平成 30 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,784 千円	1,520 千円	92.4%	85.2%
水道	98 千円	110 千円	109.0%	112.3%

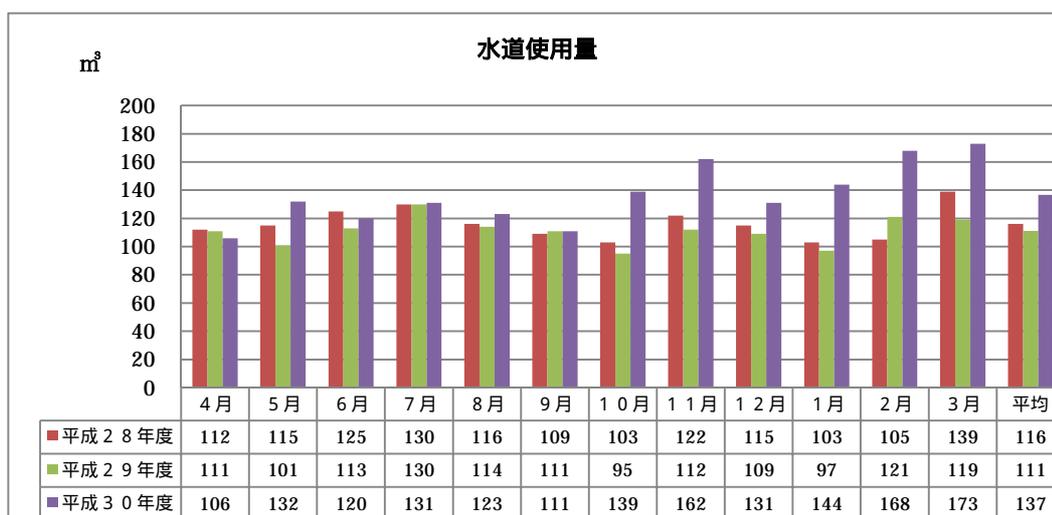
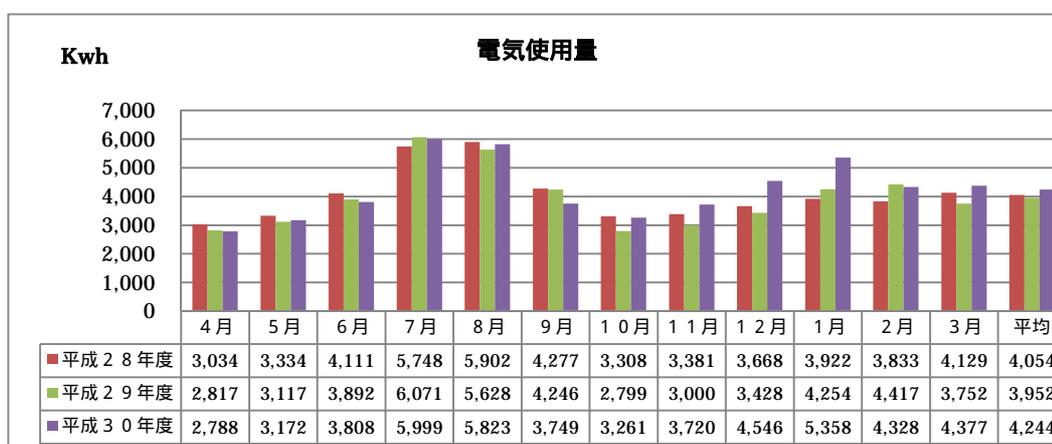


そら（福祉センター内）

食堂収入が減少している中では、電気、水道ともに増加しました。水道使用量については、10月以降、特に増加幅が大きく発生しております。原因を究明し増加しない対策を検討いたします。

参考：食堂売上高前年度比較・・・97.8%

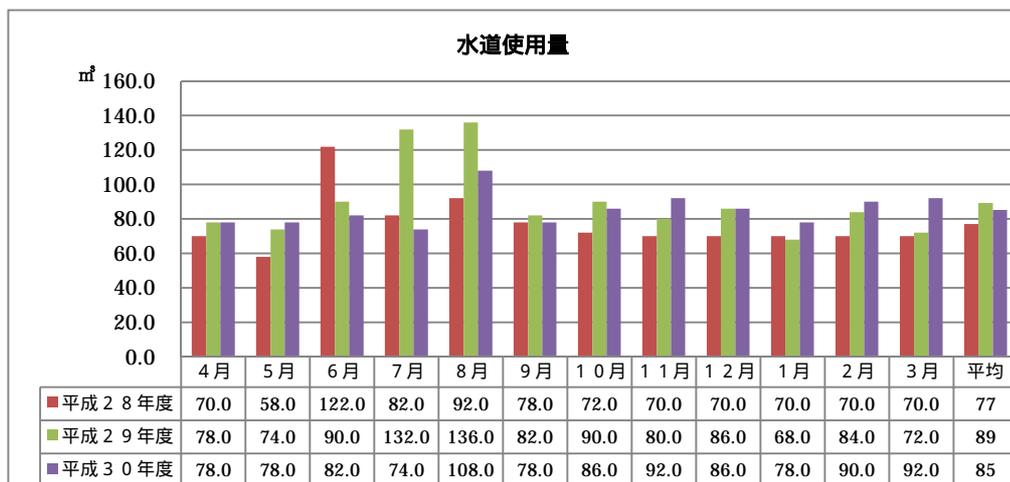
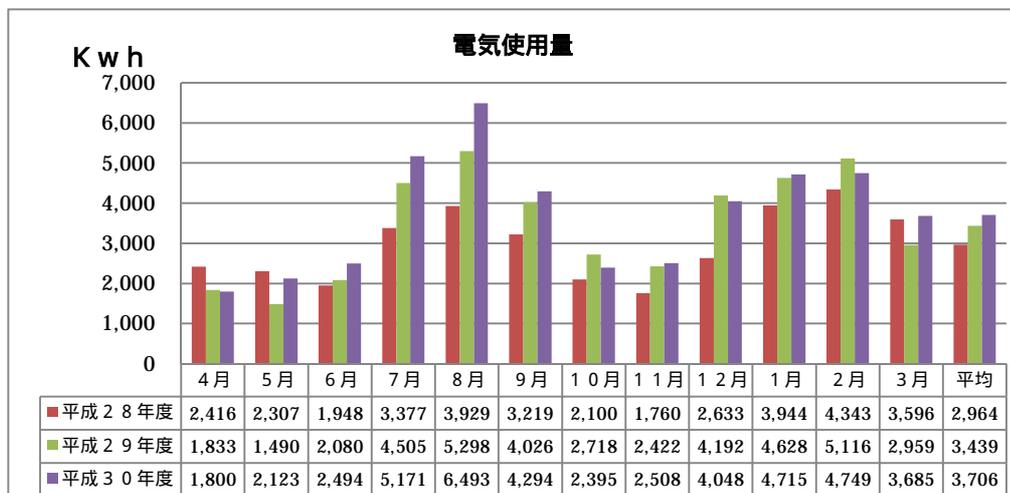
	平成 29 年度	平成 30 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	721 千円	774 千円	107.4%	107.3%
水道	547 千円	673 千円	106.3%	123.0%



すみれの里（香芝市委託事業）

電気は、下期は節減対応を行なった結果であるが、夏の使用量がかかなり増加したため、年間を通じて増加となった。暑い時期ムリな節約は必要ありませんが、ムダがないかの再確認は行ってまいります。

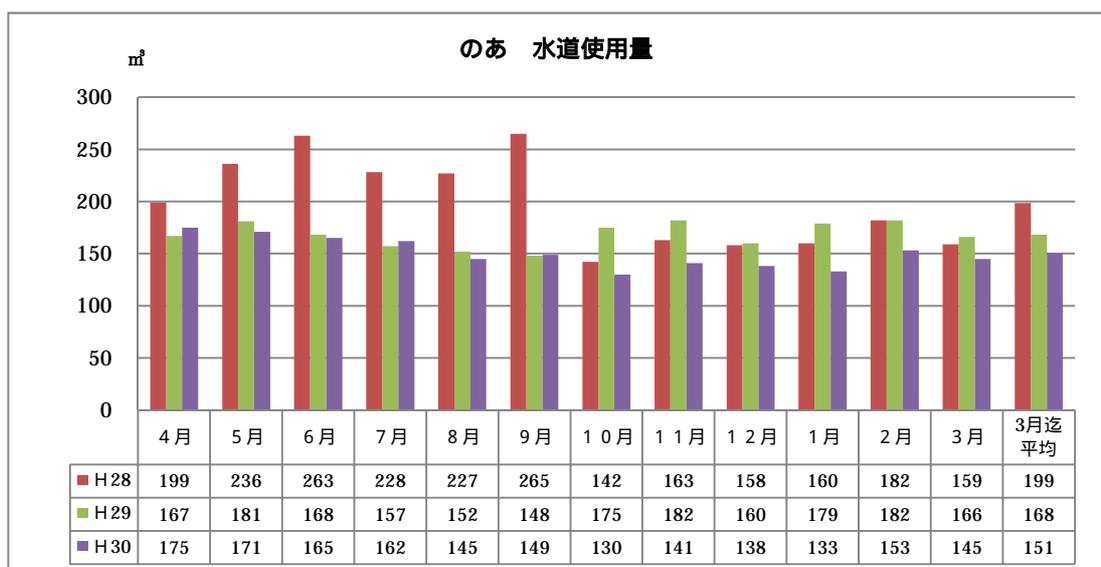
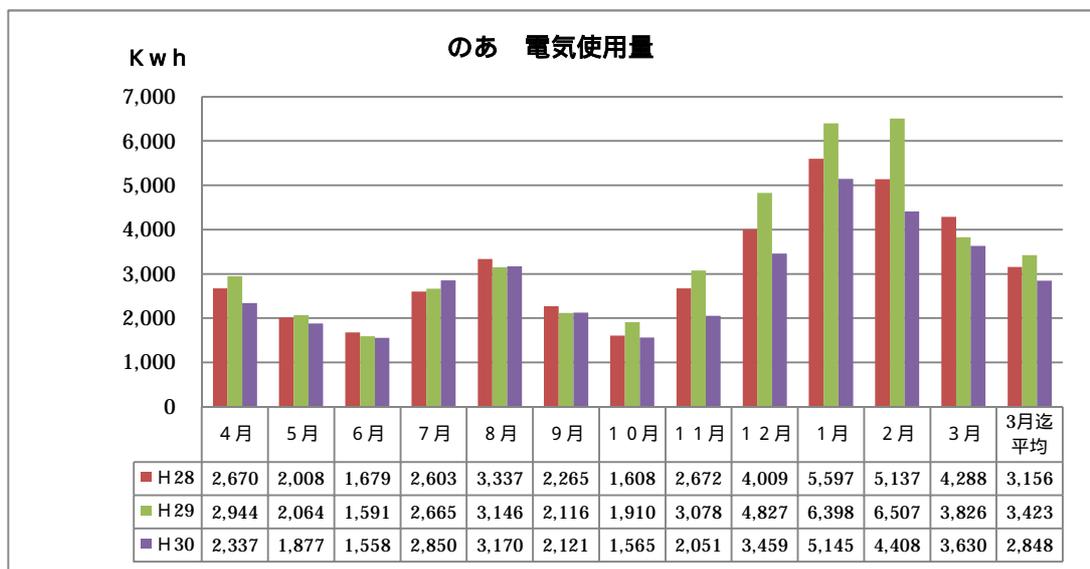
	平成 29 年度	平成 30 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,221 千円	1,278 千円	107.8%	104.7%
水道	204 千円	191 千円	95.3%	93.7%



のあ（穴虫 グループホーム）

電気、水道ともに大幅な削減が実行できました。意識をして管理ができた結果であります。増加する傾向のある月を無駄のないよう管理できたことが、結果に結びつきました。

	平成 29 年度	平成 29 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,127 千円	781 千円	74.4%	69.3%
水道	326 千円	294 千円	89.6%	90.0%

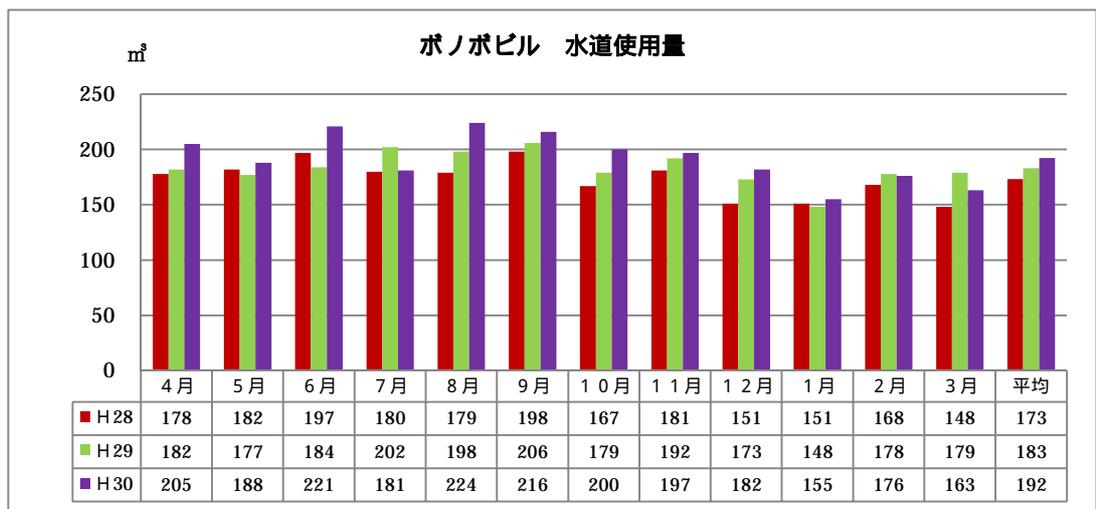
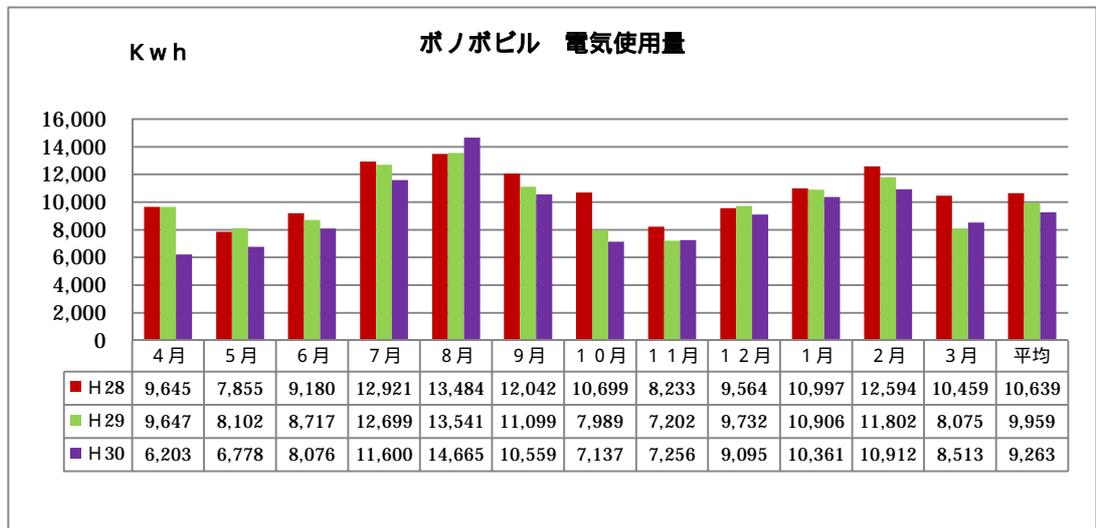


ボノビル（磯壁 地域拠点）

平成29年度に蛍光灯の多くをLED化したことも、年々電気代が減少している要因となっているかと思いますが、就労の売上の増加＝設備機器の使用増の中、減少できたことは、無駄の削減に取り組めたことであります。

参考：カフェ及びクッキー売上高前期比・・・107.6%

	平成29年度	平成30年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	3,960千円	3,593千円	93.0%	90.7%
水道	438千円	468千円	105.0%	106.8%



□平成30年度就労支援施設の就労金について

福祉センター内で運営しております「ふれあいキッチンそら」は、平成30年度より就労継続A型事業を廃止し、就労継続B型事業での運営に変更しました。その関係で、「そら」で勤務しておりますご利用者への賃金は工賃に変わり、法人での総支給額は、前年度比87.6%の13,394,400円と大幅な減少となりました。しかし現状においても、多くの活動の就労収支差額が、赤字運営であることから、工賃の再設定が必要となること、そのために工賃規程の整備が必要となること。それぞれについて改善を行ないます。

各事業における1人1カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

	平成29年度		平成30年度	
	工賃総額	1人当たり/月	工賃総額	1人当たり/月
今人				
就労移行	871,702	10,646	664,400	11,455
就労継続B型	1,263,126	15,665	1,685,494	19,153
生活介護	2,472,149	10,476	2,479,450	11,863
計	4,606,977	11,439	4,829,344	13,604
我楽				
就労継続A型	6,385,234	74,247	-	-
就労継続B型	3,339,159	20,171	3,497,858	23,012
生活介護	572,280	3,489	583,835	2,678
計	10,296,673	22,375	4,081,693	11,032
すみれの里				
就労継続B型	378,371	6,306	4,483,363	36,749
生活介護	-	-	-	-
計	378,371	6,306	4,483,363	36,749
合計	15,282,021	16,806	13,394,400	15,814

各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

	平成29年度	平成30年度
今人		
就労移行	21.8%	29.3%
就労継続B型	38.0%	55.3%
生活介護	27.7%	26.2%
計	28.4%	32.7%
我楽		
就労継続A型	48.6%	-
就労継続B型	18.2%	17.6%
生活介護	927.8%	1189.3%
計	32.6%	20.5%
すみれの里		
就労継続B型	40.4%	32.5%
生活介護	- %	- %
計	40.4%	32.5%
合計	31.4%	27.7%

就労収入には、内部売上を含む

□平成30年度固定資産の推移について

平成30年度、ゆらくの里においては、食堂の改修（補助金あり）やカメラの設置など、ボノボについても2階・3階の壁の変更工事など環境面での整備を実施、学生及びご利用者への発信アイテムとしてホームページの更新を実施し、総額24,500,000円の設備投資を行いました。

取得一覧（100万円以上のもの）

単位：円

内容	金額	事業
【建物】 ゆらくの里 食堂改修工事	2,376,000	ゆらくの里(入所)
【建物】 ボノボビル 2階3階建物改修工事	6,804,000	我楽(生活介護)
【構築物】 ボノボビル 1階フェンス設置工事	1,080,000	我楽(生活介護)
【構築物】 風鈴山荘 門扉更新工事	1,263,600	風鈴山荘(GH)
【器具備品】 ゆらくの里 屋内カメラ設置	1,749,600	ゆらくの里(入所)
【器具備品】 風鈴山荘 屋外カメラ設置	2,494,800	風鈴山荘(GH)
【器具備品】 ゆらくの里 温冷配膳車	3,175,200	ゆらくの里(入所)
【ソフトウェア】 ホームページ更新	2,851,200	ゆらくの里(入所)

参考

平成30年度末において、3件の借入金が残っております。ここ数年実施して来た大型の設備投資によるものであり、まだ最長で17年の期間、支払いが継続します。

平成30年度末の借入残高及び今後の返済計画は以下のとおりであります。

単位：千円

借入事項	借入期間	借入残	返済計画				
			H31	H32	H33	H34	H35
カフェ内装工事資金	10	7,976	2,004	2,004	2,004	1,964	1,964
ボノボビル購入資金	10	42,648	8,004	8,004	8,004	8,004	8,004
風鈴山荘購入資金	20	120,000	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
計		170,624	17,508	17,508	17,508	17,508	17,468
支払利息			1,629	1,436	1,267	1,088	925
5年間の合計支払利息			6,357				

運転資金の借入金（3年3000万円）は、平成30年度中に完済しました。

□平成30年度修繕費の推移について

1. 過去2年間の推移

平成30年度の修繕額は、平成29年度と比べ84.7%と大幅に減少しましたが、これは、公用車の修繕(車検等整備費含む)が、平成30年度より「車輛費」で処理することとなったためであり、車輛費における修繕分は2,110,562円と前年度比24.5%増であり、実質では増加となりました。

修理分類別でみると、今人拠点の水回りの修繕が大幅に減りましたが、ゆらくの里におけるガラスによるけが防止のためのポリカへの交換による増加などがありました。

単位：円

拠点	処理科目	平成29年度	平成30年度
ゆらくの里	事業費	38,763	385,560
	事務費	3,056,075	4,097,839
今人	事業費	196,560	138,542
	事務費	1,352,037	53,816
	製造原価	311,476	27,180
地域	事業費	-	85,428
	事務費	1,400,198	451,051
	製造原価	155,574	275,160
合計		6,510,683	5,514,576

処理科目とは、修繕費用のうち、製造原価に反映させるものは「製造原価」、その他の修繕費用は「事業費」「事務費」で処理しております。

2. 修繕事業別内訳

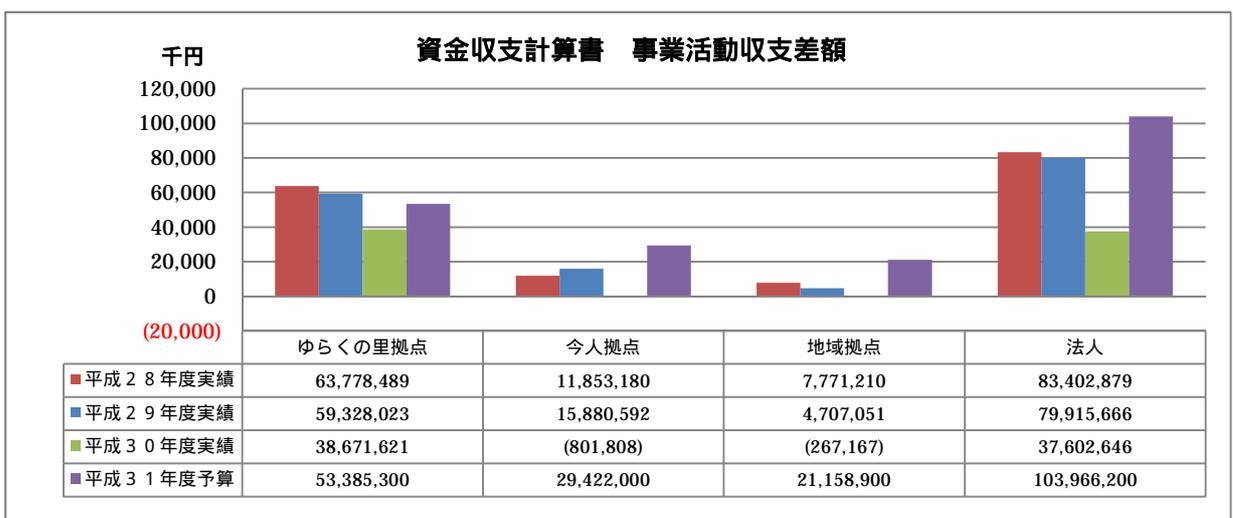
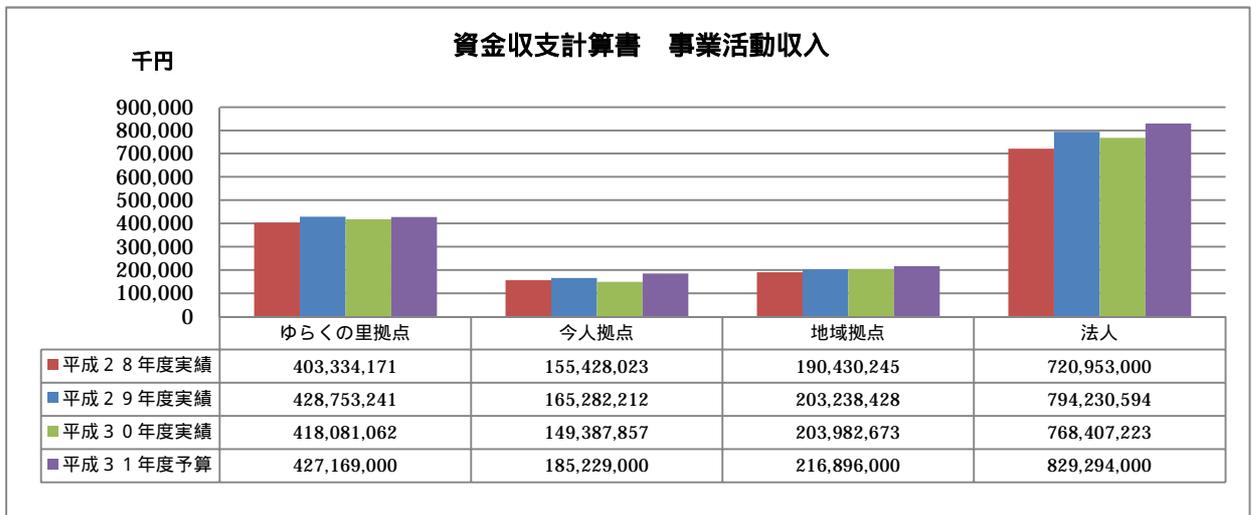
3. 単位：円

分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り(機械含む)	685,325	2,570	81,000	768,895
ガラス	1,451,583	-	-	1,451,583
公用車	8,839	-	-	8,839
その他設備	2,337,652	189,788	455,479	2,982,919
就労設備	-	27,180	275,160	302,340
計	4,483,399	219,538	811,639	5,514,576

□平成30年経営成績について

平成30年度は、一部事業の報酬改定による減少、入所施設のご利用者の減少などマイナス要素が重なり、障害福祉サービスの大幅に減少したこと、費用として人件費の増加により、事業活動収支差額は、平成29年度の半分以下にまで減少しました。また、年間の資産の購入(24,502,912円)、借入金返済(27,516,000円)、積立(21,130,000円)等の支出を賄いきれず、当期資金収支差額合計は、28,083,226円の赤字となりました。

平成31年(令和元年)度は、事業活動資金収支差額にて、事業活動収入の約10%(103,966,200円)を予算として計上し、黒字運営化、建設費の積立、手持ち資金の増加を図ります。



拠点別報告

1. 法人全体として

平成30年度の報酬改定により、主に今人の就労移行支援事業、放課後等デイサービス事業で収入が減少したほか、ゆらくの里のご利用者の減少も大きく影響しました。また費用では、人件費が、前縁度より大幅に増加率は減少したものの、まだ増加傾向であることは変わらず続いており、収支差額を減少させた要因となっております。我楽及びすみれの里の就労継続B型事業においては、赤字運営のまま改善されずとなりました。

資金収支赤字事業

ゆらくの里拠点：本部、ゆらくの里入所事業、ゆらくの里放課後等デイサービス

今人拠点：今人就労移行支援、すみれの里就労継続B型事業

地域拠点：我楽就労継続B型事業、グループホーム「のあ」

《事業活動収支》

単位：円

	H29	H30	増減差
事業活動収入	794,230,594	768,407,223	25,823,371
事業活動支出	714,314,928	730,804,577	16,489,649
事業活動収支差額	79,915,666	37,602,646	42,313,020

《事業活動収入》

単位：円

	H29	H30	増減差
就労事業収入	45,684,888	45,238,314	446,574
福祉サービス	736,854,858	715,471,125	21,383,733
その他	11,690,848	7,697,784	3,993,064
計	794,230,594	768,407,223	25,823,371

《事業活動支出》

単位：円

	H29	H30	増減差
人件費	511,264,683	528,770,905	17,506,222
事業費	85,706,141	94,100,977	8,394,836
事務費	60,676,608	54,788,444	5,888,164
就労支援支出	50,755,699	47,521,670	3,234,029
その他	5,911,797	5,622,581	289,216
計	714,314,928	730,804,577	16,489,649

2. ゆらくの里拠点

《事業活動収支》

福祉収入の減少及び人件費の増加が主な理由となり、事業活動収支差額は、前期 65.1% の 38,671,621 円となりました。

単位：円

	H 29	H 30	増減差
事業活動収入	428,753,241	418,081,062	10,672,179
事業活動支出	369,425,218	379,409,441	9,984,223
事業活動収支差額	59,328,023	38,671,621	20,656,402

《事業活動収入》

福祉収入の減少は、ゆらくの里のご利用者の入院及び退所の増加、また平成 29 年度は、退所者のご家族様からの寄付があったため大きく減少しました。

単位：円

	H 29	H 30	増減差
就労事業収入	-	-	-
福祉サービス	418,911,705	412,007,217	6,904,488
その他	9,841,536	6,073,845	3,767,691
計	428,753,241	418,081,062	10,672,179

《事業活動支出》

人件費の増加のほか、温冷配膳車導入に伴う食器の買い替えも大きく事業費増加に影響しました。なお事務費事業費では、科目処理の変更による増減が発生しております。

単位：千円

	H 29	H 30	増減差
人件費	276,496,700	279,914,243	3,417,543
事業費	65,000,700	69,173,432	4,172,732
事務費	23,665,793	26,217,126	2,551,333
就労支援支出	-	-	-
その他	4,262,025	4,104,640	157,385
計	369,425,218	379,409,441	9,984,223

3. 今人拠点

《事業活動収支》

費用に大きな変動がなかったものの、収入（福祉収入）が大きく減少したことから赤字運営となりました。

単位：円

	H29	H30	増減差
事業活動収入	165,282,212	149,387,857	15,894,355
事業活動支出	149,401,620	150,189,665	788,045
事業活動収支差額	15,880,592	801,808	16,682,400

《事業活動収入》

平成29年度に就職実績を残せなかったため、平成30年度における就労移行支援事業の福祉収入が、大きく減少しました。

単位：円

	H29	H30	増減差
就労事業収入	30,301,683	28,489,034	1,812,649
福祉サービス	133,970,168	120,180,463	13,789,705
その他	1,010,361	718,360	292,001
計	165,282,212	149,387,857	15,894,355

《事業活動支出》

人件費が大きく増加した一方で、事務費及び就労支援支出を減少させることができ、支出は前年度と大きな差がありませんでした。なお事務費事業費の増減は、科目処理の変更によるものであります。

単位：円

	H29	H30	増減差
人件費	93,217,669	98,798,782	5,581,113
事業費	9,582,680	9,994,736	412,056
事務費	14,604,858	11,874,025	2,730,833
就労支援支出	31,472,351	27,668,272	3,804,079
その他	524,062	1,853,850	1,329,788
計	149,401,620	150,189,665	788,045

4. 地域拠点

《事業活動収支》

収入は、事業により増減はありますが、ほぼ前年度分は確保することができました。一方事務費が減少したものの人件費の増加がそれを上回ったため、事業活動収支差額は、赤字となりました。

単位：千円

	H29	H30	増減差
事業活動収入	203,238,428	203,982,673	744,245
事業活動支出	198,531,377	204,249,840	5,718,463
事業活動収支差額	4,707,051	267,167	4,974,218

《事業活動収入》

カフェの売上など就労収入は改善しましたが、福祉収入は若干の減少となりました。

単位：千円

	H29	H30	増減差
就労事業収入	18,426,492	19,793,649	1,367,157
福祉サービス	183,972,985	183,283,445	689,540
その他	838,951	905,579	66,628
計	203,238,428	203,982,673	744,245

《事業活動支出》

人件費が大幅に増えたものの、平成29年度における耐震診断をした費用（約200万円）等の大型案件がなく、事務費が減少する結果となりました。なお事務費事業費の増減は、科目処理の変更によるものであります。

単位：千円

	H29	H30	増減差
人件費	141,550,314	150,057,880	8,507,566
事業費	12,917,131	15,497,214	2,580,083
事務費	23,397,983	17,560,879	5,837,104
就労支援支出	19,540,239	20,077,798	537,559
その他	1,125,710	1,056,069	69,641
計	198,531,377	204,249,840	5,718,463

5. 就労事業活動

活動別収入

各作業の売上は以下の通りであります。

単位：円

活動名		H29年度	H30年度	増減	
今人	ふえりーちえ(パン)	13,556,139	12,153,633	1,402,506	89.6%
	そうじや(掃除)	2,503,524	2,360,653	142,871	94.2%
	内職	177,123	223,449	46,326	126.1%
	計	16,236,786	14,737,735	1,499,051	90.7%
我楽	レストラン	13,128,560	-	13,128,560	--.-%
	菓子	4,606,450	5,425,121	818,671	117.7%
	カフェ	13,771,642	14,368,979	597,337	104.3%
	内職	61,680	49,089	12,591	79.5%
	計	31,568,332	19,843,189	11,725,143	62.8%
すみれ	BDF	430,347	497,089	66,742	115.5%
	畑	321,190	253,700	67,490	78.9%
	内職	184,800	169,840	14,960	91.9%
	レストラン	-	12,835,470	12,835,470	--.-%
	計	936,337	13,756,099	12,819,762	146.9%
合計		48,741,455	48,337,023	404,432	99.1%

内部売上を含むため、他の資料と合計金額が異なる。

レストラン事業の前期比は、293,090円 97.7%であります。

レストラン事業は、平成30年度より我楽のA型事業からすみれの里のB型事業へ変更となりました。

活動別収支

平成30年度各作業の収支は下記の通りであります。

単位：円

活動名		売上	経費	収支	収支率
今人	ふえりーちえ(パン)	12,153,633	10,051,695	2,101,938	17.2%
	そうじや(掃除)	2,360,653	2,769,718	409,065	-
	内職	223,449	1,023,152	799,703	-
	計	14,737,735	13,844,565	893,170	6.0%
我楽	菓子	5,425,121	7,918,755	2,493,634	-
	カフェ	14,368,979	12,428,857	1,940,122	13.5%
	内職	49,089	583,835	534,746	-
	計	19,843,189	20,931,447	1,088,258	-
すみれ	BDF	497,089	1,291,853	794,764	-
	畑	253,700	170,908	82,792	32.6%
	内職	169,840	206,135	36,295	-
	レストラン	12,835,470	13,644,778	809,308	-
	計	13,756,099	15,313,674	1,557,575	-
合計		48,741,455	50,089,686	1,348,231	-

レストラン事業は、平成30年度より我楽のA型事業からすみれの里のB型事業へ変更となりました。

活動経費（原価）率

各作業の原価内訳は下記の通りであります。

単位：円・%

活動名	材料費		労務費		経費		計	
	金額	率	金額	率	金額	率		
今人	ふえりーちえ(パン)	3,639,113	29.9	2,246,445	18.5	4,166,137	34.3	10,051,695
	そうじゃ(掃除)	0	-	1,973,304	83.6	796,414	33.7	2,769,718
	内職	0	-	609,595	272.8	413,557	185.1	1,023,152
	計	3,639,113	24.7	4,829,344	32.8	5,376,108	36.5	13,844,565
我楽	菓子	1,748,426	32.2	2,297,763	42.4	3,872,566	71.4	7,918,755
	カフェ	6,552,559	45.6	1,200,095	8.4	4,676,203	32.5	12,428,857
	内職	0	-	583,835	1189.3	-	-	583,835
	計	8,300,985	41.8	4,081,693	20.6	8,548,769	43.1	20,931,447
すみれ	BDF	27,274	5.5	111,530	22.4	1,153,049	232.0	1,291,853
	畑	30,236	11.9	13,360	5.3	127,312	50.2	170,908
	内職	0	-	206,135	121.4	-	-	206,135
	レストラン	5,013,940	39.1	4,152,338	32.4	4,478,500	34.9	13,644,778
	計	5,071,450	36.9	4,483,363	32.6	5,758,861	41.9	15,313,674
合計	17,011,548	34.9	13,394,400	26.8	19,683,738	40.4	50,089,686	

外注加工賃（外注仕入）は、材料費に含む。

割合は、対売上高比率

比率が100%を超えているのは、売上以上に費用が発生していることを示す。

レストラン事業は、平成30年度より我楽のA型事業からすみれの里のB型事業へ変更となりました。

就労事業全体

全活動の収入は、前年度とほぼ同等の収入を確保することができましたが、パン製造販売、清掃、レストラン事業が減少しており、活動内容の改善が必要であります。またカフェ及びクッキー工房は、前年度の減少を戻し増加させることができました。

パン事業〔今人：生活介護事業など ふえりーちえ〕

年々収入が減少しているものの、利益率が良く収支差額は、一定以上確保できる活動である。

掃除事業〔今人：就労移行支援事業ほか そーじゃ〕

収入減、労務費増により収支が赤字となった活動です。収入増加の取り組みを優先しなければならない活動の一つに挙げられます。

内職班〔今人：生活介護事業〕

収入は前年度を上回りましたが、活動ご利用者の工賃が出せる状況ではありません。生活介護事業をご利用の方の活動ではありますが、活動内容と工賃単価の関係を検討していくことが必要であります。

製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

11月より新しいパティシエを雇用したことで、製造量が増加しただけでなく、新たな製品の提案も行えることから、収入の増加につながりました、しかし人件費増員を含む発生経費が多く収支の取れる体制作りが必要となりました。

カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

平成30年度は、収入を回復させることができました。十分な収支が出ておりますが、経費の内訳として、他活動と違うのは、材料原価が高く工賃割合が低い傾向にあります。改善すれば、もっと多くの工賃を支払うことも可能になります。

レストラン事業〔すみれの里：B型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

今年度も収入減となりました。A型事業所からB型事業所への切り替えによる工賃確保の対応もあり、収支差額は赤字となりました。

モンステラファーム〔すみれの里：就労継続B型事業〕

太陽の下での活動として、活動が大きくなればとも思いますが、現状、ご利用者の高齢化で活動に参加される方と日数が限られ、職員1人で活動している状況です。活動の見直しを図る必要があります。

環境班〔すみれの里：就労継続B型事業〕

バイオ燃料の販売先がない現状、精製は行っておらず、食用油及び古紙の収集と売却の活動を行っております。ただし、活動ご利用者の高齢化などにより、活動の見直しが必要であります。

内職班〔すみれの里：生活介護事業〕

ご利用者の機能訓練の活動として導入された活動であります。収入に対して工賃が高いため、工賃単価の見直しは必要であります。

□平成30年度経営成績について

安全性比率

名称	分析の目的	H29 H30.3.31	H30 H31.3.31
純資産比率	総資産のうち自己資金で賄えている割合を測定する。	81.0%	82.9%
流動比率	短期に支払いを要する債務に対する支払い準備資産の割合を測定する。	293.0%	299.5%
当座比率	短期に支払いを要する債務に対する支払準備の現金預金の割合を測定する。	136.4%	121.6%
固定長期適合率	固定資産に投入された長期資金の割合を測定する。	87.5%	88.7%
現金預金保有率	総資産に占める現金預金の割合を測定する。	17.4%	17.2%
未収金回転期間	事業収入が現金化されるのに何か月要しているかの期間	1.90月	1.91月
未払金回転期間	何カ月分の経費支払いが残っているかを示す指標	1.37月	1.32月
減価償却累計比率	償却資産の使用程度を把握する。	38.8%	40.9%

当年度減価償却累計比率算定するための固定資産には、土地が含まれております。

平成29年度から大きく変動した指標はありませんが、減価償却の増加、現預金残の大幅な減少が目立ちました。指標において運転資金の不足は伺えませんが、現状十分な状況ではないため、余裕を持てる運転資金残高を確保していくことが必要です。

収益性比率

名称	分析の目的	H29 H30.3.31	H30 H31.3.31
事業活動資金収支差額比率	事業活動の資金収支上の収益力を測定する。	10.1%	4.9%
人件費比率	経常活動の収益力に人件費が及ぼしている影響を測定する。	64.9%	69.3%

収支差額が前年度の半分以下となりました。収支差額の最低限の確保がなければ、赤字運営となり、好ましくありません。また人件費比率が上昇しており、収支差額確保が難しい状況となります。人件費をある程度で抑えなければなりません。各職員のモチベーション維持もあるため、収入を確保しカバーしていかなければなりません。

成長性比率

名称	分析の目的	H29 H30.3.31	H30 H31.3.31
事業活動収入増加率	前年同月比での成長率を測定し、傾向を把握する。	106.4%	96.7%
人件費増加率		105.4%	103.2%
事務費増加率		117.9%	90.3%
事業費増加率		92.5%	109.8%
事業活動収支差額増減率		95.8%	47.1%

収入減、人件費増、収支差額減の結果があらわされています。要因がはっきりとしているので、平成31年（令和元年）度の改善に対応していかなければなりません。

生産性比率

名称	分析の目的	H29 H30.3.31	H30 H31.3.31
総資産回転率	資産利用の効率性を測定する。	58.6%	58.1%
職員1人当たりの 経常活動収入	職員1人が生み出す経常活動資金収入の額を測定する。	9,851 千円	9,076 千円
利用者1人当たり 人件費	利用者一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	8,797 円	9,308 円
職員1人当たりの 人件費	職員一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	6,848 千円	6,709 千円
職員1人当たりの 利用者数	職員1人当たりが担当する利用者数を測定する。	129.8 人	120.1 人
労働生産性	職員1人が生み出す付加価値の額	7,618 千円	7,418 千円
労働分配率	生み出された付加価値が、人件費に分配された割合を測定する。	89.9%	90.4%

「職員1人当たりの利用者数」を除き、その他の職員には、間接職員を含み、パート職員、アルバイト職員は除く。

人件費は、簡易に計算ができるため非常勤給与も含む。

年間利用延べ人数には、そーる、しゅーくの利用者を含んでいない。（総数にあまり影響がないため）

指標より、職員の減少ではなく、ご利用者の減少が大きく影響していることがわかります。無理なくバランスよくご利用者の増加を図り、収支の改善を行って行かなければなりません。

□資金残高について

資金（預金残高）の推移について

1．ゆらくの里拠点・地域拠点

	平成 27 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日
実残高	92,945,427	119,240,492	151,377,738	181,944,978	171,136,846
積立	38,280,000	58,100,000	85,500,000	97,900,000	114,030,000
現預金 会計	54,665,427	61,140,492	65,877,738	84,044,978	57,106,846
前期 比較	21,669,915	26,295,065	32,137,246	30,567,240	10,808,132

前期比較は、預金実残高で比較

積立は、定期的実施できしっかりと進めることはできているが、手持ち現預金(運転資金)が大きく減少している。毎期、必ず増やしていけるように運営していかなければならない。

2．今人拠点

	平成 27 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日
実残	44,457,725	26,442,409	37,954,166	52,781,383	54,159,856
積立	12,245,000	12,030,000	16,040,000	24,940,000	25,940,000
現預金 会計上残	32,212,725	14,412,409	21,914,166	27,841,383	28,219,856
前期 比較	20,064,315	18,015,316	11,511,757	14,827,217	1,378,473

今年度は、若干の増加となりました。

積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

科目	ゆらくの里	今人	地域	計
施設整備等積立金	90,400,000	13,000,000	6,400,000	109,800,000
工賃変動積立金	-	1,195,000	100,000	1,295,000
設備等整備積立金	-	10,745,000	1,000,000	11,745,000
計	90,400,000	24,940,000	7,500,000	122,840,000

平成30年度も毎月の積立を実施し、予定通りの増加を行なえました。

令和4年の完成を目指すためには、もっと多くの積立を実施していかなければ、十分な自己資金を賄えません。平成31年(令和元年)度は、これまでと同じペースで毎月の積立を行うと同時に、年度末には、1000~2000万円の追加積立、結果、現預金(運転資金)も増加させるだけの資金確保を実現しなければなりません。そのためには、事業活動収支差額の対収入比率を10%以上の確保することが必要であり、予算を上回る実績を残せるように、1年間事業運営を行ないます。

□平成30年度研修等報告

各事業において、ご利用者へのより良い支援を実施するために、1年間に亘り多数の外部研修への参加を実施してきました。研修で学んだことは、直接支援に活かされています。

平成30年度の参加外部研修は、以下のとおりであります。

1. 研修実績

事業名	平成29年度		平成30年度	
	参加件数	参加人数	参加件数	参加人数
ゆらくの里	21	42	29	55
栄養士・調理師	7	9	13	19
管理	15	16	17	19
今人・我楽・すみれの里	30	53	26	69
相談支援事業	11	16	5	6
児童課	20	84	7	31
地域支援(グループホーム)	2	2	2	2
事業企画推進室	-	-	2	2

1. ゆらくの里

ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月26日	介護セミナー(認知症予防体操) もののみの郷	もののみの郷	通阪
5月7日	かつらぎ施設見学 大阪府障害者福祉事業団	金剛コロニー かつらぎ	西畑・服部 秋田・中島
5月8日	施設見学 自閉症児への食事支援に関する感覚統合療法	奈良県総合リハビリテーションセンター	小川・西村 平方
5月13日	eサービス研修 自閉症支援の新たなトレンド eサービス大阪	和泉シティプラザ	中島・服部
5月15日	施設見学 自閉症児への食事支援に関する感覚統合療法	奈良県総合リハビリテーションセンター	秋田・森口
5月25日	県施設協会総会 奈良県施設協会	奈良県総合福祉センター	中山
6月15日	施設見学 南山城学園	南山城学園	中山
6月17日	eサービス自閉症基礎講座 eサービス奈良	奈良市やまと会議室	小川

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月 23日	発達につまずきのある子どもの偏食 へのアプローチ こどもデイケアいずみ	岸和田市浪切ホール	秋田・小川
6月 30日 7月 1日	eサービストレーニングセミナー eサービス奈良	でいあー	服部
7月 4日	施設を元気にする「パワーコミュニ ケーション」 奈良県福祉施設士会	橿原観光ホテル	山内
7月 8日	eサービス自閉症基礎講座 eサービス奈良	奈良市やまと会議室	小川
7月 8日	eサービス連続講座 意思決定支援のコミュニケーショ ンツール	和泉シティプラザ	服部
7月 22日	eサービス初任者のための実技演習 eサービス奈良	奈良市やまと会議室	服部
7月 29日	eサービス自閉症基礎講座 eサービス奈良	奈良市やまと会議室	小川
8月 5日	eサービス連続講座 思春期の捉え直しと困った行動へ の処方箋 eサービス大阪	貝塚市民福祉センタ ー	服部
8月 18日	施設協会新任職員研修 奈良県施設協会	奈良県総合福祉セン ター	乾
8月 24日	施設見学 青葉仁会	青葉仁会	吉田・服部 高松・大内 和田・乾 米田・北原
9月 1日	eサービス連続講座 特性理解とペアレントトーク eサービス大阪	JEC日本研修セン ター十三	小川・浅井
9月 14日 ～ 17日	eサービス 4days トレーニング eサービス大阪	淡路地域生活支援セ ンター	浅井
10月 9日	社会福祉法人 大阪府障害者福祉事 業団 かつらぎ施設見学	金剛コロニー かつ らぎ	吉田・服部 高松・大内 和田・乾 通阪・米田 北原
10月 12日	社会福祉法人 あいの土山福祉会 見学研修	エーデル土山	中山・中島 黒松
10月 14日	eサービス連続講座 「ロングライフを支える仕組み」 eサービス大阪	貝塚市民福祉センタ ー	服部
10月 14日	eサービス自閉症基礎講座 「問題行動の理解と氷山モデル」 eサービス大阪	橿原市ミグランス4F 会議室	小川

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
10月 20日	e サービス自閉症基礎講座 「構造化のアイデア」 e サービス大阪	大阪社会福祉指導センター	浅井
11月 4日	e サービス基礎講座 「コミュにケーション」 e サービス大阪	大阪社会福祉指導センター	浅井
11月 25日	e サービス研修中級講座 事例検討 ・ e サービス奈良	奈良県社会福祉総合センター	小川
12月 12日	e サービス研修中級講座 事例検討 e サービス奈良	奈良県社会福祉総合センター	小川
2月 28日	障がい者施設栄養士の会研修 「オリゴ糖を学ぶ」 奈良県栄養士会 障がい者施設栄養士の会	奈良県社会福祉総合センター	森口

栄養士（調理師含む）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 3日	奈良県栄養士会 研究発表 奈良県栄養士会	帝塚山大学	米田
4月 11日	食器ショールーム見学	スリーラインメラミンウェア大阪支店	米田・北原 奥山
5月 14日	栄養情報提供書を学ぶ 日本栄養士会	新大阪丸ビル別館	米田
5月 15日	施設見学 自閉症児への食事支援に関する感覚 統合療法	奈良県総合リハビリテーションセンター	米田
5月 17日	「県児童福祉入所施設栄養士の会との 合同勉強会、栄養教室、総会」 障 がい者施設栄養士の会	仁優園	米田
5月 25日	県施設協会総会 奈良県施設協会	奈良県総合福祉センター	米田
6月 11日	知的・発達障害児者への支援研修 青垣園	青垣園	米田
9月 6日	食の祭典外食産業フェア 日本外食食品流通協会	インテックス大阪	米田・北原 奥山
9月 28日	嚥下食調理実習 奈良県栄養士会	橿原中央公民館	米田・北原 奥山

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
11月 15日	障がい者施設栄養士の会 「車椅子の衛生管理に関して」 奈良県栄養士会	青垣園	米田
2月 14日	第55回近畿地区知的障害関係施設職員研修会 近畿地区知的障害者施設協会	和歌山市ホテルアバ ローム紀の国	米田
2月 28日	障がい者施設栄養士の会研修 「オリゴ糖を学ぶ」 奈良県栄養士会 障がい者施設栄養士の会	奈良県社会福祉総合 センター	米田
3月 14日	障害者施設栄養士の会 「中央卸売市場及び天理養徳院施設 見学 30年度事業報告・会計報告 次年度事業計画」 奈良県栄養士会	中央卸売市場及び天 理養徳院	米田

管理

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 18日	社会福祉法人制度改革事務 担当者フォローアップセミナー 全国経営協	TKPガーデンシテ イ premium 心齋橋	森本
5月 15日	平成31年3月新規学校卒業生 採用研修会 大和高田公共職業安定所	かしはら万葉ホール	西原
6月 15日	施設見学 南山城学園	南山城学園	西原
7月 3日	青年経営者オープンセミナー 経営協	奈良ロイヤルホテル	西原
9月 11日	安全運転管理者講習 奈良県安全運転管理者協会	奈良県文化会館	西原
10月 12日	社会福祉法人 あいの土山福祉会 見学研修	エーデル土山	森本・西原
10月 15日	TKC社福研創設20周年記念特別研修 会 TKC全国社会福祉法人経営研究会	グランフロント大阪	西原
11月 5日	経営協 広報発信力強化セミナー 全国社会福祉法人経営者協議会	新大阪江坂東急REIホ テル	西原
1月 25日	奈良県経営協セミナー（後期） 奈良県社会福祉法人経営者協議会	奈良ロイヤルホテル	森本

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
2月 6日	社会福祉法人向け消費税法改正セミナー TKC	大和信用金庫八木支店第一会議室	岩井・森本
2月 13日	「働き方改革関連法」説明会 奈良労働局	かしはら万葉ホール	西原
2月 13日	年次有給休暇登録操作説明会 アマノ(株)	アマノ(株)大阪支店(大阪市西区)	森本
2月 15日	障害者雇用納付金制度事務説明会 高齢障害求職者雇用支援機構	ポリテクセンター奈良	森本
2月 19日	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座 ハローワーク大和高田	奈良労働局	西原
2月 22日	奈良の人事講習会(後篇) ～社員教育と職場定着～	奈良県社会福祉総合センター	西原
2月 27日	介護事業所向け充足支援セミナー ハローワーク大和高田	ハローワーク大和高田	西原
3月 12日	奈良県社会福祉法人経営セミナー 「デンマークの福祉現場・政策を学ぶ」 奈良県社会福祉法人経営者協議会	リガーレ春日野	西原

2. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 27日	eサービス自閉症基礎講座 eサービス奈良	奈良市やまと会議室	平山・藤元 田中・後藤
6月 1日	問題行動を対処するガイド ワーク ショップ 奈良PECS研究会	きらっ都奈良	後藤
6月 15日	施設見学 南山城学園	南山城学園	岡
6月 16日	eサービス初任者のための実技演習 eサービス大阪	大阪社会福祉指導センター	坂本
6月 17日	eサービス研修	奈良市やまと会議室	平山・田中 藤元・後藤
7月 4日	施設を元気にする「パワーコミュニケーション」 奈良県福祉施設士会	檀原観光ホテル	安田
7月 8日	eサービス研修	奈良市やまと会議室	平山・藤元 後藤

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月 22日	eサービス初任者のための実技演習 eサービス奈良	奈良市やまと会議室	中川・平山
7月 11日	障害のある方が働き続けるために なら中和障害者就業・生活支援センター プリッジ	ボノビル	松本・後藤 山口・北井 中川・坂本 安田・田中 森田
7月 29日	eサービス研修	奈良市やまと会議室	後藤・藤元 平山・田中
8月 29日 30日	奈良県相談支援初任者研修 奈良県	大和高田市 地場産業会館	北井
9月 1日	eサービス連続講座 特性理解とペアレントトーク eサービス大阪	J E C日本研修センター十三	安田
9月 13日 20日 27日	就労基礎研修 奈良県障害者職業センター	奈良県商工会議所	山口
9月 30日	eサービス研修 中級講座	奈良県総合福祉センター	後藤・藤元 平山・田中
10月 12日	社会福祉法人 あいの土山福祉会 見学研修	エーデル土山	岡・山林
10月 14日	自閉症eサービス@奈良 中級講座 「問題行動の理解と対応」 自閉症eサービス@奈良	奈良県社会福祉総合センター	後藤・平山 田中(克)
10月 15日	T K C社福研創設20周年記念特別 研修会 T K C	グランフロント大阪	吉田
10月 25日	平成30年度奈良県障害者虐待防止・ 権利擁護研修 奈良県	奈良県社会福祉総合センター	松本・森田 石田
11月 25日	自閉症eサービス@奈良 中級講座 「事例検討」 自閉症eサービス@奈良	奈良県社会福祉総合センター	後藤・平山 田中(克)
12月 2日	自閉症eサービス@奈良 中級講座 「事例検討」 自閉症eサービス@奈良	奈良県社会福祉総合センター	後藤・平山 田中(克)
12月 16日	自閉症eサービス@奈良 医療と支援 現場との連携 自閉症eサービス@奈良	大阪府社会福祉会館	坂本
1月 22日	平成30年度奈良県サービス管理責任者等 研修 奈良県	奈良産業会館	吉田・北井

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
2月 15日	なにわの里 実践事例発表会 なにわの里	柏原市立国分図書館	吉田・岡 森田・中川 大谷・平山 大藪
2月 26日 27日	平成30年度奈良県サービス管理責任者等研修 奈良県	奈良産業会館	吉田・北井
3月 9日	自閉症eサービス@奈良 これからの強度行動障害支援～実践報告～ 自閉症eサービス@奈良	大阪社会福祉指導センター	森田・中川 坂本
3月 29日	青葉仁会 クラムボン工房内見学研修	青葉仁会 クラムボン	岡・田中(貴)

3. 相談支援事業

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 22日	計画相談支援事業所説明会 橿原市	橿原分庁舎	保川
8月 22日	3市1町 第2回就労支援部会 3市1町障害自立支援協議会	広陵町さわやかホール	保川
9月 6日	後見人制度について 葛城市障害福祉課	ゆうあいステーション	保川
9月 18日	葛城市計画相談事業所連絡会 葛城市障害福祉課	ゆうあいステーション	保川・吉岡
9月 19日	卒業後の進路について 大淀養護学校	葛城市健康福祉センター	保川

4. 児童課

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 27日	障がいのある子どもの就労支援の現状と課題 奈良県発達障害支援センターでいあ～	奈良県文化会館	浦田・原田 森田・的場 田林・岡村 今中
6月 23日	発達につまずきのある子どもの偏食へアプローチ こどもデイケアセンターいずみ 自閉症支援センターWAVE	岸和田市立浪切ホール	堀川・原田 森田・田林

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月 24日	てんかん基礎講座 日本てんかん協会	大阪商工会議所	浦田・吉岡
8月 29日 30日	相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良県産業会館	西本
9月 22日	発達障害のある子どもに教えておきたい学習の方略 大阪医科大LDセンター	大阪医科大学	浦田・堺井 森田・的場 田林・岡村 今仲
10月 3日	児童発達支援のあり方と児童発達支援センターの役割 ～子どもの心に焦点を当てる～ 奈良県自立支援協議会	内膳町自治会館 すみれホール	吉岡・浦田
11月 22日	『障がいのある児童の育ちを支援する研修会』 ～障害のある子どもへの支援、理解のためのチーム アプローチについて～ 奈良県立登美学園	奈良県立登美学園	浦田・西本 堺井・森田 的場・田林 今仲・岡村

5. 地域支援（グループホーム）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
9月 26日	障がい者総合支援制度における移動支援事業集団指導 大阪市	西成区民センター	松下
2月 14日 15日	第55回近畿地区知的障害関係施設職員研修会 近畿地区知的障害者施設協会	和歌山市ホテルアバ ローム紀の国	福本

6. 事業企画推進室

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月 15日	施設見学 南山城学園	南山城学園	松田
7月 3日	青年経営者オープンセミナー 経営協	奈良ロイヤルホテル	松田

